



岡田山撤去連絡協議会通信

第3号 平成27年9月発行

第4回 岡田山撤去連絡協議会を開催しました

7月29日(水)午後2時半から、約1時間半にわたり、伏見区役所深草支所第3会議室において、第4回 岡田山撤去連絡協議会を開催しました。



(会議当日の様子)

1 構成員、会長、副会長の再任等

まず、今年度の初回の会議となることから、構成員、会長、副会長の再任等の手続を行いました。地元深草学区からは、構成員として森澤深草学区自主防災会会長が新たに加わられたほかは、前年度までの方々が引き続き構成員となられ、正副会長については、いずれも再任となりました。（メンバーについては裏面をご参照ください。）

2 岡田山撤去の進ちよく状況・環境調査結果・交通量調査結果の報告

続いて、岡田山撤去の進ちょく状況、環境調査結果、交通量調査結果の報告が、
(株)HIRAYAMA（撤去事業者）及び京都市環境政策局からありました。

平成26年度については、年間撤去計画量40,000m³に対して、40,660m³を撤去し、その間、環境調査（大気、水質、土壌等）及び交通量調査の結果も問題はなく、岡田山の撤去が適正かつ順調に進められていることを確認しました。

地元としては大岩街道の交通量が気になるのですが、通行車両台数[※]は撤去作業前と比較して93%程度となっており、撤去作業に伴う影響は出ていません。

今後も地元構成員としましては、(株)HIRAYAMA及び京都市と連絡調整を行い、岡田山の廃棄物の撤去が安全、安心、そして確実に進んでいくよう、しっかりと見守っていきます。

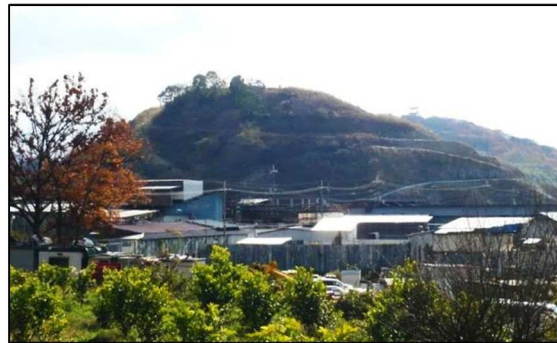
なお、平成26年度の岡田山撤去の進捗状況及び環境調査結果は、インターネットでもご覧いただけます。（裏面下の検索方法を参照してください。）

※ 平日12時間（午前7時～午後7時）の交通量で、毎月1回調査の平均台数

[illegible]



(通称) 岡田山の様子 (平成27年8月撮影)



(平成23年12月撮影)

岡田山の背後(写真右側)に写るのが「大岩山」です。4年前に撮影した右の写真と比べ、岡田山の背後の大岩山の見え方が違い、岡田山の撤去が進み始めたことが分かります。

岡田山の撤去と岡田山撤去連絡協議会について

通称「岡田山」は、稻荷山南山麓から名神高速道路の間の「大岩街道周辺地域」にある、過去に倒産した産業廃棄物処理業者が土やガレキ類等の建設系混合廃棄物を積み上げたものです。

京都市が策定した「大岩街道周辺地域の良い環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、現在の地権者の一人である(株)HIRAYAMAが、京都市の指導監督の下、自社の廃棄物中間処理業と並行して、本格的な撤去開始(平成26年度)から20年以内に岡田山を完全撤去します。

岡田山撤去連絡協議会は、岡田山撤去中の周辺地域の安全確保と生活環境を守るため、深草学区自治連合会・(株)HIRAYAMA・京都市の三者で締結した協定に基づく協議会であり、深草学区各種団体の会長等も参画いただき、岡田山撤去に関する協議・連絡調整を行っています。

発行：岡田山撤去連絡協議会（地元構成員）

会長 北川 晃（東部地域環境対策推進協議会 会長）

副会長 岩見 敏雄（自治連合会 会長）、久保 穂積（自主防災会 参与）

構成員 梁川 昭子（自治連合会 副会長）、村上 晶一（自治連合会 副会長）、中井 貞一（自治連合会 副会長）

高木 俊雄（市政協力委員連絡協議会 会長）、深柄 信夫（保健協議会 会長）

森澤 幸次（自主防災会 会長）、酒井 彦三（交通安全推進委員会 会長）

藤田 清臣（東部地域環境対策推進協議会 副会長）

◎ お問い合わせ先

・ 連絡協議会に関すること

深草支所 大岩街道周辺地域環境整備担当 電話：075-642-3175

・ 岡田山撤去に関すること

京都市環境政策局 廃棄物指導課 電話：075-366-1394

・ 周辺の環境調査に関すること

京都市環境政策局 環境指導課 電話：075-222-3955

◎ インターネットで岡田山撤去の取組のページを設けていますのでご覧ください。

- ・ [岡田山撤去の取組](#) で [検索](#) → 「京都市伏見区役所：岡田山撤去の取組」を選択してください。
- ・ [岡田山撤去 進ちよく状況](#) で [検索](#) → 「京都市：岡田山撤去の進ちよく状況及び環境調査結果について」を選択してください。